

令和2年度 学校図書館基本計画(案)

足立区立梅島小学校 校長 篠 達司

1 学校教育目標

- 進んで学習する子ども
- 仲良く助け合う子ども
- 礼儀正しい子ども
- 元気でじゃぶな子ども

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して読書の楽しさに触れ、日常的に読書に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状(昨年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 12,302冊(蔵書基準冊数11,088冊) / 蔵書率 110.9%									
	② 新規購入図書 718冊 / 廃棄図書 779冊 / 増減冊数 61冊減									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	7%	6%	13%	5%	3%	7%	2%	54%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、中休み、昼休み									
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数 41.7冊									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 71.4%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。	
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う学習により、本を手にとる機会が増やす。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各クラス月2回以上、読書等の学習を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が80%以上。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。	
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が80%以上。

第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が65%以上。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が65%以上
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が65%以上。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が70%以上
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が50%以上。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が50%以上 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 蔵書構成を念頭に置いた新規購入図書計画に基づいて、購入リストを6月までに作り、発注する。
- ② 学校図書館案内図をボランティアと協力して5月中に完成させる

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、児童が活用しやすい学校図書館づくりを実践する。

※本計画の数値目標は、令和元年度末（臨時休校措置実施前）に設定した数値を掲載しています。